

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD.

国際耕種株式会社

TEL/FAX: 042-725-6250

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403

E-mail: aai@koushu.co.jp Home Page: http://www.koushu.co.jp

ギニアおもしろ写真集

ギニアの首都、コナクリは年間 4000mm の雨の降る町である。この降雨のほとんどが6月から9月に集中するからすごい。日本では経験したことのない豪雨を何度も見た(写真)。今回訪問した時期はちょうど雨期にあたり、コナクリでは連日の雨であった。道路は川になり、いたるところに穴の開いた舗装道路は池になる。コナクリでは町の至る所にスラムがあり、町は非常に汚い。幸いにも、雨期には豪雨により町のゴミがきれいに流されてしまう。



写真、を見てほしい。ギニア内陸部に向かったときの状況である。

はタクシーに馬乗りになる乗客、数えたら外に 14 人、中は不明だがおそらく7人程度、合計 21 人となる。大変だ！これでも中に乗る人と外の人運賃は同じだそう。物ではない「乗客」は過積載にはいけないのだろうか。はトラックの後ろに落ちそうになって乗る人々。人ごとながら、もっと中に乗れば良いのと思う。は電柱であるが、柱はそこいらに転がっている材木のような気がした。また、写真にはないが電線には空き缶が鈴なりにぶら下がっていた。



ギニアは西アフリカに位置し、ギニアビサウ、セネガル、マリ、コートジボアール、リベリア、シエラレオネの6ヶ国と周囲で接している。フランス語圏と英語圏の境に位置し、紛争の絶えない地域であることも関係しているのであろうか、貧困層の多いアフリカ諸国の中でも最貧国に位置づけられている。1958年独立後、フランス語圏にあったが宗主国フランスと決別し、自主独立の社会主義による立国を目指した。しかし、社会主義の崩壊に伴い、支援国からの援助はなくなり、同時に国のインフラ(道路、電気、郵便など)はほとんど全てがまともに機能しなくなってしまった。タクシーの乗客も好きで乗っているのではない。移動手段がこのような方法しかないのである。トラックの上の人は遊んで乗っているのではない。道路事情が悪く、場所によってはこの人たちの路上からの指示と補助がないと進めないからと聞く。電柱の資材がなく(盗まれた?) 仮設にしたのだろうか。郵便も機能していないため、知人・タクシー運転手に手紙を託して連絡を取り合う。



今日、ギニアは日本を始め、国際機関や西側先進諸国の支援を受けて、貧困からの脱却をはかろうとしているが、前途は非常に多難であろう。外国の支援を当然のごとく受け入れ、それからの収入なしでは仕事をしようとする一部の技術者、また構造的な汚職や腐敗もひどく、政府資金の一部が賄賂に消えていくと聞いた。優秀な技術者はこのような国に失望・流出していくか、金儲けに走ってしまっているのではと感じる。高級官僚の収入でも月収1万円ほど、地方の野菜売りは1束2円のネギを一生懸命に売っていた。



今回の調査でギニア内陸部を歩いたが、子供の笑顔はどこでも良い。親切な人々に支えられながらいろいろな知見も得ることが出来た。今後もギニアの調査は続くが、「どげんかせにやいかん！」という気持ちもわいてくる。
(ギニアにて、2008年10月、財津)

